

早いもので、今年度最後の3月を迎えました。この一年を振り返ると、あっという間に過ぎていく日々にも、子供たちの笑顔と多くの学びがあったと改めて感じます。

今年度の学習で大切にしてきたことは、体験です。理科の実験や書き初め、図工や行事への参加。対面授業ではなくとも、できるだけ学校で行っていることに近づけるようにと、工夫してきました。その中で、子供たちも真剣に取り組み、新たな発見をしながら成長してきました。その成長をお互いに認め合う時の言葉がけにも、以前よりも表現豊かに伝え合っている様子が見られ、来年度への期待も膨らんでいます。

そして何より、毎日のオンライン授業を支えてくださってる方々のご協力には、感謝しかありません。そばで子供たちを励まし、補って下さる保護者の皆様、教材の受け渡しにお時間を割いてくださる病院のスタッフの皆様、ありがとうございました。今後も、毎日の授業が、子供たちの楽しみや成長につながるよう、努めていきたいと思えます。

## ~モチモチの木~

「じさまは豆太を大切に育てているんだなと思った。」(Kさん)

「豆太はおくびょうだけれど、医者様を呼んだことが、びっくりした。」(Sさん)

【一部抜粋】

初めて読んだ時の感想です。国語科「モチモチの木」の学習では、この初めて読んだ時の感想から学習課題を一緒に考え、毎時間話合いをしました。物語の学習では、自分の考えの根拠を本文から探し出し、どの言葉とつなげて考えたかを毎回問いかけます。根拠のある想像力を働かせます。けれど、「モチモチの木」そのものの味わいが削がれないように、今回は挿絵に台詞を当てたり、登場人物への手紙を書いたりして、「モチモチの木」の世界観に浸りました。

学習のまとめとして、斎藤隆介さんの作品を読み、登場人物の性格を考えました。絵を担当している滝平二郎さんが、数年かけて版画絵を完成させたとのエピソードを読み、「先生！すごいんだよ！」と教えてくれました。読み聞かせもいいけれど、手に取り自分で読むことは、やっぱりいいものだなと感じました。

じさま、大好きだよ。元気になってよかった。いつもぎゅーってしてくれて、笑顔でいてくれて、うれしい。

じさまが死んじゃったらどうしよう。いなくなってしまうよ！早く！急がなきゃ！

じさま。大丈夫？ 医者様よほつか？ どうしてそうなったの？

## ～じしゃくのふしぎ～

理科「じしゃくのふしぎ」の単元では、磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、さらに、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを、学習しました。

それらの学習を踏まえて、おもちゃ作りをしました。方位磁針とコラボしてメリーゴーランドの不思議を発見したり、口が閉じたり開いたりするワニのおもちゃを作りました。

授業では習わなかったことの新たな発見！これぞ理科の醍醐味です！！

「なんで？  
ほういじしんも  
ずっと回ってる！」



## 3月の予定

1	水	3時間授業
2	木	午前授業（担任出張のため）
3	金	
6	月	
7	火	
8	水	3時間授業
9	木	
10	金	
13	月	
14	火	
15	水	3時間授業
16	木	
17	金	午前授業（会議のため）
20	月	
21	火	春分の日
22	水	午前授業
23	水	修了式
R5年度 4月		
6	木	始業式 1時間授業 （時間は変更があります。）
7	金	午前授業

## ～わたしの見たいモチモチの木～

図工科「わたしの見たいモチモチの木」の学習では、お花紙を使って思い思いのモチモチの木を作成しました。本校の3年生の学習掲示と一緒に、飾る予定です。



「…花が多いと長生きできる。そして、花びらが落ちた分だけねがいかなう。そういう『ねがいの木』にしました。」



「…木の後ろからいろいろな光を照らし、神様のお祭りを表現しました。神様の祭りがきれいに見えるようにという気持ちで作りました。」

